

令和4年3月吉日

市民会員及びスポンサー企業 各位

“Road to Tokyo” 2020長岡市民スポーツ応援団  
公益財団法人 長岡市スポーツ協会  
会長 市村輝男

“Road to Tokyo 2020” 長岡市民スポーツ応援団の解散について（お礼）

拝啓 春暖の候、皆様におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、夏季2020東京オリンピック・パラリンピック及び冬季2022北京オリンピック・パラリンピックでの日本選手団の活躍がまだ記憶に新しいことと思います。

長岡産のトップアスリートや次世代を担うジュニア選手が、オリンピックをはじめとして世界を舞台に活躍するための物心両面での活動支援と、こどもたちのスポーツを育て、将来有望な人材の発掘と育成・支援を目的に、平成29年11月1日に設立した「“Road to Tokyo” 2020長岡市民スポーツ応援団」は、当初の規約に則り、本年3月末をもって解散することとなりました。

昨年の2020東京大会へは、極めて出場の可能性が高かった長谷川徳海選手（ビーチバレーボール）及び佐藤 凌選手（陸上走高跳）のいずれもが、今一步のところで出場を果たすことができませんでした。

しかしながら、本年の2022北京大会へは、星野純子選手（フリースタイルスキー・モーグル）及び古野 慧選手（スキークロス）の2名が予選会を勝ち抜いて見事出場を果たすことができました。

これもひとえに皆様からの格別な御理解と御支援の賜物と感謝に堪えません。誠にありがとうございました。

本年4月からは、当スポーツ協会の「賛助会員」制度を改変し、制度の基本的な内容はそのままとし、名称を「長岡市スポーツ応援団会員」と改め、本応援団の機能を活かしながら「スポーツ好きで元気あふれるこどもの育成」、「ジュニアスポーツの育成・強化」及び「長岡産トップアスリートへの活動支援」を継続的に行ってまいり所存ですので、引き続き御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具